

野球 平成29年度秋季近畿地区高等学校野球大会

準々決勝 彦根東 3-4 近江



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号



▶ 熱投を見せた増居君



▶ 2打点を挙げた高内君



▼ 5回に適時打を放った宇野圭一郎君 (2-6)

あと1点が届かず
激闘の滋賀県勢対決
僅差で敗戦
惜敗

11月3日に大阪府の大阪シティ信用金庫スタジアムで平成29年度秋季近畿地区高等学校野球大会の準々決勝が行われた。本校は近江高校と対戦し3-4で惜敗した。

TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	R
彦根東	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
近江	0	1	1	0	2	0	0	0	X	4

試合は2回裏に相手のホームランで1点を先制され、3回にも適時打によって1点を加えられた。本校は3回まで安打がなかったものの、4回表の攻撃で、その回の先頭打者の野寄重太君(2-3)がセンター前に安打を放ち、続く4番の高内希君(2-8)の打席で野寄君が盗塁を決め、無死二塁のチャンスを作った。その後連打で打線をつないだが得点には結びつかなかった。しかし、5回表の攻撃で本校は反撃に出た。2アウト走者なしの状態から連打でランナー一・二塁とし、2番の宇野圭一郎君(2-6)が三遊間を抜けるレフト前安打を放ち、1点を返した。続く3番の野寄君が死球で出塁し、二死満塁。さらに4番の高内君の打球が相手のエラーを誘い、走者2人が生還。一挙三点を挙げ、3-2と逆転に成功した。しかし5回裏、一死二・三塁から本塁への送球が間に合わず同点、守備の乱れによる隙を突かれて3-4と逆転を許す。その後本校は思うような攻めができず、あと1点が届かなかった。

この敗戦を受けて主将の高内君は「本当に勝てた試合だった。もったいないミスもあった。自分たちが負けていった試合だった」と悔しげな表情を浮かべた。また冬の練習に向けて「体づくりをすることから始めたい。この試合の悔しさをバネにして一からチームを作り直していきたい。来年、成長した姿を見せられたら良いと思う」と抱負を話した。

この試合で先発し、8回を一人で投げ抜いた増居翔太君(2-4)は「結果としては負けてしまったが、内容としては勝てるはずだったので負けて悔しい」とこの試合を振り返った。自身のピッチングについては「いつも立ち上がりが悪い傾向があって、今回も序盤に打たれてしまった。打たれるとわかっているところで打たれた。力不足だと思え」と悔しさをにじませた。

監督の村中隆之先生は「判断ミスや守備のミスなど色々なミスがあった。やることをしっかりとやれば勝てる、経験のなさがいっぱい出た試合だった。負けるときは当たり前前ことを当たり前にできていない」と振り返られた。また「夏に向けてきつちりと体をつくる。自分たちの戦い方が近畿でも通用するとわかった試合だった」と来年の夏を見据えて話された。